

岡山大学

医学部 保健学科

OKAYAMA UNIVERSITY MEDICAL SCHOOL
FACULTY OF HEALTH SCIENCES

- 看護学専攻
- 放射線技術科学専攻
- 検査技術科学専攻

大学院保健学研究科

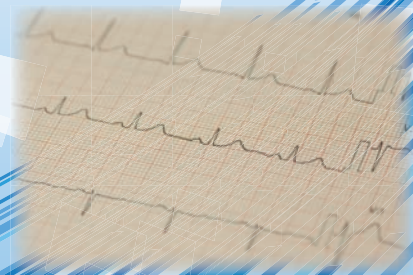
OKAYAMA UNIVERSITY
GRADUATE SCHOOL OF HEALTH SCIENCES

- 看護学分野
- 放射線技術科学分野
- 検査技術科学分野



OKAYAMA
UNIVERSITY

世界への扉を開く



Department of Nursing

Department of Radiological Technology

Department of Medical Laboratory Science





岡山大学病院

岡山大学医学部保健学科棟

Message

— 研究科長・学科長からのメッセージ —

研究科長・学科長

廣畑 聡



あなたの将来の夢は何ですか？

チャットGPTをはじめとする生成系AIの進化は、すさまじい勢いで私たちの生活に入り込んできています。一方で医療には少子化、社会保障制度の負担増などの課題が山積んでいます。SDGs(Sustainable Development Goals)の目標3に掲げられている「すべての人に健康と福祉を」という目標を達成するために、私たちはどのように行動すればよいのでしょうか。

岡山大学医学部保健学科の学生達はさまざまな経験を通して、課題解決方法を創り上げる能力を身につけています。岡山大学での学生生活においては、教室に座って「教えられたことをひたすら暗記すること」＝「学び」ではありません。皆さんには、チャレンジする精神をもって、自らのありたい将来をしっかりと定め、その夢に向かって前進して行ってほしいと考えています。

「晴れの国」岡山で、あなた自身の活動の場を大きく広げることで、メディカルスタッフとして必要な人間性を育む選択肢を増やすことができます。臨地実習は岡山大学病院を中心に行われ、高度な専門知識や技術とともにチーム医療を実践するための土台を築くことができるでしょう。さらに、高齢社会の医療福祉・デジタル化に対応でき、活躍できる人材育成を目指した教育も展開しています。さあ、私たちと一緒に、あなた自分の未来を作っていきましょう。

Admission Policy – 入学者受入方針 –

医学部保健学科では、人々の健康に対して質の高い医療が提供でき、また医療の発展と国際化に貢献できる担い手として、次のような人材を求めています。

- チームの一員として課題に積極的に取り組むことができる人
 - 課題に対して多角的な視点で検討することができる人
 - 他者との違いを理解し、自らの考えを多様な方法で分かり易く表現できる人
 - 自然科学や社会に関する基礎的知識があり、それらを応用できる人
 - 人間性を高めるために多様な課題に対して好奇心を持って学び続けることができる人
- 上記を備え、高い倫理観と人間性豊かな人を望みます。

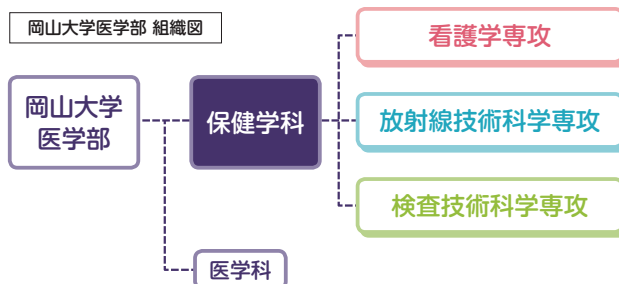
保健学科の特色



伝統と歴史、実績のある医学部保健学科

明治3年岡山藩医学館が設置され、岡山医科大学を経て昭和24年岡山大学医学部となりました。岡山大学に既設の専修学校（医学部附属の看護学校、診療放射線技師学校、臨床検査技師学校）、および各種学校（医学部附属助産婦学校）は、岡山大学医療技術短期大学部を経て、平成10年10月医学部保健学科となりました。

このような伝統と歴史を持つ保健学科は、1学年看護学専攻80名、放射線技術科学専攻40名、検査技術科学専攻40名の学生を受け入れ、同キャンパス内の医学科はもとより、岡山大学病院と、教育研究・臨床実習など綿密に連携しています。



●全国的にも特色ある教育

チーム医療・地域保健医療活動のリーダーとなれる人材、および医療の実践と研究を通して医療技術科学を確立できる人材の育成を目指しています。そのために学部においては、『高い臨床能力』、『豊かな人間性』、『独創的創造力』を養う教育を行っています。そして看護師、診療放射線技師、臨床検査技師を養成するだけでなく、高度専門職業人、教育・研究者になることを視野に入れた大学院への進学に相応しい人材を養成します。

高い臨床能力
豊かな人間性
独創的創造力

医療技術科学を確立できる人材の育成

■ 学科棟改修工事進捗中

保健学科では、教育研究環境のさらなる充実を図るため、建築から38年を経過した保健学科棟の改修工事を進めています。2027年4月には、新・学科棟が誕生予定です！快適で機能的な教育研究環境が整う予定ですので、ご期待ください。





■ 多職種連携教育

連携能力、コミュニケーション能力、課題探求能力を持つメディカルスタッフの育成を目指す授業です。現代の在宅・地域医療や高度先端医療には多くの医療関係職種が参加するため、チームワークと責任ある判断が求められます。2025年度の教育改革で新しく実施される多職種連携教育では、保健学科の枠を超えて医学部医学科、歯学部、薬学部でひとつのチームを構成して種々の医療課題について話し合い、チーム医療においてそれぞれの役割を果たすことができる人材を育成します。

本講義では、保健学科、医学科、歯学部、薬学部の学生8～10名を一つのチームとして医療問題や課題を見つけ出します。その解決に必要な知識や情報を自主的に集めて整理し、互いに討議しながら解決方法を考え、その成果を発表する科目です。

1年次から3年次にわたって開講される科目なので、他学部学生との交流を深めることができるのも本科目の魅力の一つです。

■ チーム医療海外演習

チーム医療海外演習（旧：チーム医療演習海外班）という“新入生”が海外の医療現場を体験する短期海外研修が2016年からスタートしました。実践的な語学力を能動的に獲得し、自国および他国の文化・社会への理解と共感を持つ国際的に活躍できる医療人材となることを目指します。

毎年、海外研修を希望する40人の学生が3専攻混在した複数の班に分かれ、オンラインでの交流と3泊4日程度の日程で現地渡航して協定校である台湾、韓国、インドネシアなどの大学や病院での研修や見学、現地のメディカルスタッフ学生との交流を行います。

研修では、現地の病院スタッフの前で英語によるプレゼンテーションを行います。発表テーマと内容、英語は、学生が練り上げたもので、現地のスタッフには毎回好評を得ています。また、現地のメディカルスタッフ学生ともチームを作り、一緒に現地の講義・実習を受けたり、観光や食事にも出かけ交流を深めます。



医学部保健学科

看護学専攻 ————— p.6-7

放射線技術科学専攻 — p.8-9

検査技術科学専攻 — p.10-11



大学院保健学研究科

看護学分野 ————— p.16-17

放射線技術科学分野 — p.18-19

検査技術科学分野 — p.20-21

専攻・分野別紹介



人々の健康を守る 看護学専攻

Department of Nursing

“ひと” “暮らし” “いのち・健康”を支える専門職

学びつづける力を養う

卒業により得られる国家試験受験資格 …… 看護師
国家試験合格率（令和7年度） …… 看護師国家試験 100%
保健師国家試験 100%
学部での保健師養成は廃止しました

岡山大学 — 看護学専攻の3つのポイント

◎ 大学病院での実習・看護のスペシャリストからの学び

1年次から4年次まで多くの実習が隣接する岡山大学病院で行われます。実習場所への移動の負担が少なく、時間を有効に活用して実習に取り組むことができる点は大きなメリットです。また、岡山大学病院には、認定看護師・専門看護師・特定行為研修を受けた看護のスペシャリストがおり、スペシャリストから講義を受けたり、直接アドバイスを受けることもでき、実践に即した貴重な学びができます。



◎ になりたい自分を描きながら進路を選択

看護学専攻では、急性期から終末期、新生児から高齢者、さらには災害看護まで、多様な領域を網羅した講義を展開しています。大学院には助産学コースを設置しているほか、保健師教育の大学院移行への準備も進めています。大学院では研究の基礎を学び、将来の研究者や教育者を目指すこともできます。地域の人々や患者さん、そのご家族にどのように貢献したいか、将来の自分を思い描きながら進路を考えることができます。



◎ 充実した学習環境

本学は高機能シミュレータや24時間利用可能な図書館など、学習環境が充実しています。2027年4月には保健学科棟の改修が完了し、ラーニングcommonsも整備されます。自分で考え、学びを深めていける環境が、さらに充実します。





人々の健康を支える

放射線技術科学専攻

Department of Radiological Technology



「見えない」モノを
「診る（みる）」「治す」医療人



卒業により得られる国家試験受験資格 …… 診療放射線技師

国家試験合格率（令和7年度） …… 診療放射線技師国家試験 92.3%

◎ 診療放射線技師とは？

診療放射線技師は、エックス線、放射性同位元素、磁気共鳴、超音波等を用いた診断装置を駆使して診断に必要な医療画像を提供し、また、リニアック等の放射線発生装置を用いて、がんの治療を行う最先端の医療を支えています。

◎ 放射線技術科学専攻での学び

先進的医療に対応できる診療放射線技師の養成

1895年にX線が発見されて以来、放射線は医療において不可欠なものとなっています。X線CTやMRIは通常の診療に多用され、陽電子断層撮影装置（PET）はがんの診断能力を向上させ、強度変調放射線治療（IMRT）や粒子線治療はがん治療の成績を飛躍させています。診療放射線技師が従事する医療分野の発展は目覚ましく、放射線技術科学専攻では先進的医療に対応できる教育を行っています。

放射線技術科学専攻の教育課程

1年次では「医療人の在り方」を通じて医療人としての基本を学びます。2年次では医学・理学・工学の基礎的科目に加えて臨床的科目を学習し専門性を高めていきます。3年次からは岡山大学病院等での臨床実習も始まり、技術・医療接遇や社会人としての教育が行われます。4年次では卒業研究に取り組み、論文の作成や発表を行います。2月には診療放射線技師国家試験を受験し、卒業と共に診療放射線技師としての一步を踏み出します。



◎ 卒業生の活躍の場は多方面

卒業生は各地の主要な医療機関や医療関連企業などに就職しています。また、研究に興味を持った学生は、さらに岡山大学等の大学院へ進学します。放射線技術科学専攻では、有能で誠実な医療技術者や研究者の育成を行っており、医師等と共同して医療を行いたいと希望する学生や、産業または研究において活躍したいと意欲をもっている学生を求めています。

◎ 学生からのメッセージ

Q. 放射線技術科学専攻はどんなところ？

A. 放射線技術科学専攻では、物理、化学、生物などの基礎学習に加えてX線装置の仕組みを学んだり、解剖により人体の仕組みをより深く学んだりしています。また、もうすぐ始まる臨床実習に向けて、実際に働いている場面を想定したトレーニングなど対人スキルを磨く実践的な講義にも取り組んでいます。講義では難しい内容も多いですが、分からないことは友達と助け合って学習でき、困ったときには親身になってくださる先生方がいます。



放射線技術科学専攻
加藤 優衣子 さん



生命と健康を守る

検査技術科学専攻

Department of Medical Laboratory Science

目の前の、その先の、笑顔のために

卒業により得られる国家試験受験資格 …… 臨床検査技師

国家試験合格率（令和7年度） …… 臨床検査技師国家試験 100%

◎ 臨床検査技師とは

医学検査は病気の**予防・発見・診断・治療に欠かせないもの**です。医学検査には人体から採取した血液や尿、組織を分析する検体検査と、心電図や呼吸機能、脳波、超音波などの生理学検査があります。このような医学検査を専門に行い、**人々の健康や治療を支えているのが臨床検査技師**です。

◎ 取得できる資格

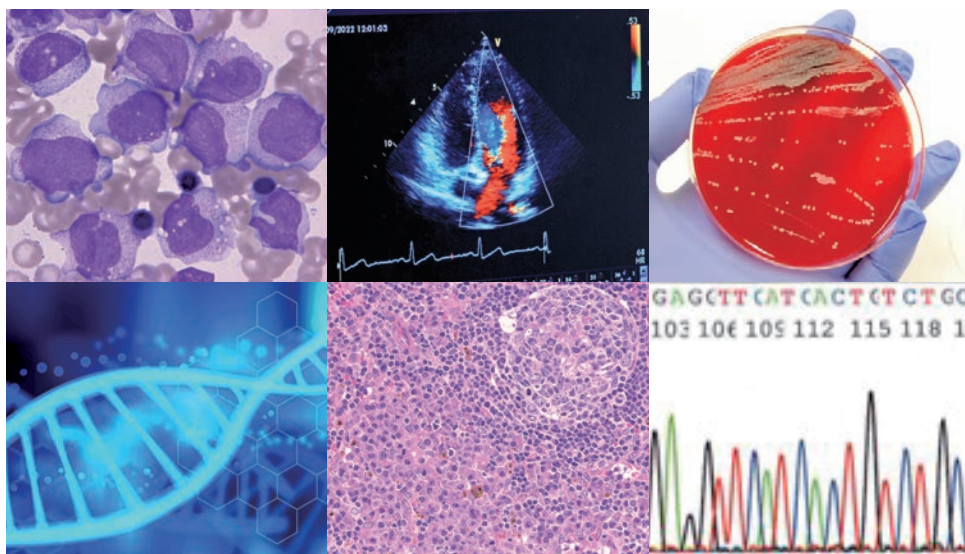
臨床検査技師国家試験の他、希望者は以下の資格試験も受験が可能です。

- ・ 遺伝子分析科学認定士（初級） ・ 中級／上級バイオ技術者
- ・ 第2種ME技術実力検定 ・ 心電図検定

これら資格試験に関しては、別途対策講義等が開講されるものもあります。担当教員の他、実際に資格を取得した大学院生からの助言を求めることもできます。



◎ 本専攻で学ぶ内容一多岐にわたる専門知識と技術



近年の生命科学や情報技術の進歩は目覚ましいものがあり、医療検査にはその進歩が即座に導入されるため、自ら知識や情報を得て技術を磨かなければ、医療現場のニーズに応えることができません。そのため、**学生時代からも積極的に学ぶ姿勢、高い勉学意欲を持つことが大切**です。

臨床検査技師の業務は非常に広範囲に及ぶため、検査技術科学専攻ではそれぞれの領域に関する知識と技術を多彩な講義や実習を通して学びます。

◎ 岡山大学病院と連携した高度な教育／研究大学としての岡山大学

検査技術科学専攻では多くの臨床検査に関する**専門知識と技術**に加えて、それらの理解と応用に**必要な基礎医学**を学びます。

また、**地域の中核医療を担う岡山大学病院と連携**し、経験豊富な先輩技師の指導のもとに、最先端の臨床検査に関する知識や技術を習得します。さらに、研究活動を通して自ら課題を発見し解決する能力、情報を発信する能力も養います。

本学では上記のような教育を通して、科学の視点で物事を捉え、**新たな領域を開拓する人材や大学教員・研究者になる人材の育成も目指しています**。そのため、大学院では、多くの教員や大学院生がハイレベルな研究を行っており、卒業研究でそれらを体験することができます。



◎ 4年間の大まかなスケジュール

1年次

津島キャンパスで開講される科目の履修がほとんどです。専門基礎講義も少しだけあり、2年次以降の学びに備えた、基礎知識を学習します。

2年次

専門基礎講義・実習の開始！1年次の基礎知識を基にした発展的な内容が多くなります。多くの講義は、3年次に向けての素地固め。

3年次

専門科目が大半を占めます。すべての講義が専門的で、国家試験を見据えた内容が多くなります。一番講義数が多い学年です。

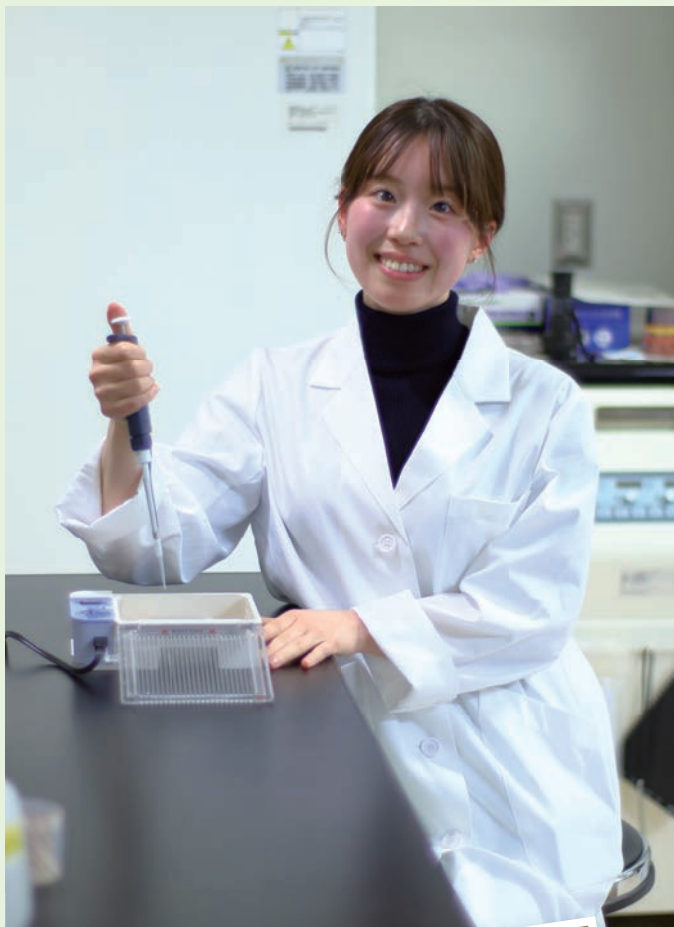
4年次

病院実習と卒業研究が主な学年です。前半組と後半組に分かれ、それぞれが実習と研究を互いに半年ずつ実施します。

学生のリアルライフ

Real Life

検査技術科学専攻の先輩



私は2024年に入学し、期待に胸を膨らませながら大学生活をスタートさせました。はじめの数ヶ月は、慣れない一人暮らしに戸惑うことも多くありましたが、家族や大学の友人の支えもあり、夏休み明け頃には自分らしくキャンパスライフを楽しむことができるようになりました。

1年生の間はとにかく新しい環境に慣れることが中心でしたが、2年生になると「将来どうしたいのか」「自分は何に興味があるのか」を考えながら学びを深める余裕ができました。特に2年生の2学期には、私の入学動機の一つである解剖学実習を履修し、岡山大学ならではの充実したカリキュラムを実感しました。解剖学以外にも、座学でインプットした知識を実習でアウトプットできる科目が多く、復習する機会が多いことも入学してから気付いた岡山大学の魅力です。また、検査技術科学専攻には、意欲的に学ぶクラスメイトが非常に多く、お互いに刺激を受けながら成長できることも心強く感じています。

そして講義以外にも、無料の学習塾を通して子どもの支援を行うボランティアサークル「ろっと」の活動に参加したり、オンライン家庭教師のアルバイトをしたりと、今だからこそ挑戦できる活動を楽しんでいます。

ぜひ岡山大学で満足度の高い、学びも課外活動も充実した大学生活を一緒に送りましょう。



リアルライフをもっと知りたい方は
ホームページでも紹介しています！

看護学専攻

仲間とともに学び合った経験が、看護を実践する力につながる

Q. 4年間で得られたものは何ですか？

看護に必要な基本的な知識や技術を講義や演習を通して学ぶことができました。臨地実習では患者さんとの関わる姿勢だけでなく、時間をかけて看護過程を考えたことで、臨床で看護を実践する力を身につけることができましたと感じています。また、学生間で行うカンファレンスで意見を交わし、相談することが、患者さんの理解を深めたり、問題を解決するために必要であることを学びました。

Q. その学びがどう生かされていますか？

臨床では、臨地実習では受け持つことのなかった病態の複雑な患者さんを担当することもあります。どのような状態でも根拠を持ってアセスメントし、実践につなげていく姿勢が身につけていると感じます。また、臨床で分からないことは自分だけで抱えるのではなく、同期や先輩に積極的に質問することができています。

Q. これからの夢や目標を教えてください

看護師として1年目で未熟な部分が多いですが、分からないことは先輩に聞いたり、自分で調べるなどし、患者さんの必要な看護の理解を深めていきたいと思えます。患者さん一人一人のニーズを汲み取り、寄り添った看護を提供できる看護師になりたいです。



高橋 唯さん

PROFILE
2020年 岡山県立倉敷青陵高等学校
2024年 岡山大学 卒業
2024年 岡山大学病院 勤務

放射線技術科学専攻

多角的な学びが臨床で生きる

Q. 4年間で得られたものは何ですか？

講義では、座学だけでなく実際にファントムを用いてX線撮影（一般に「レントゲン撮影」と呼ばれる）をしたり、画像解析の方法を学んだりできるため、臨床に出てからも役立つ幅広い知識が身につきました。また、他専攻との共同授業もあるため、多角的な視点を養い、チーム医療の大切さも学ぶことができています。

Q. その学びがどう生かされていますか？

病院で働き始め、他職種とのコミュニケーションの重要性を実感することが多く、学生時代から他の専攻との授業で意見交換をした経験は大きな強みだと感じています。また、講義で学んだ画像解析などの知識は、今後、臨床研究を行う上でも必要なものなので、学生時代から学ぶことができたことが良かったです。

Q. これからの夢や目標を教えてください

常に学び続ける姿勢を持ち、質の高い医療を提供できる診療放射線技師になることを目標としています。そのため、大学4年間で培った知識と経験を基盤として、臨床だけでなく研究にも積極的に取り組みたいです。また、学会や勉強会に積極的に参加して新たな知見を吸収し、CTやマンモグラフィなどの認定資格取得に挑戦することで、専門性を高めていきたいと考えています。



西坂 那津実さん

PROFILE
2021年 慶進高等学校
2025年 岡山大学 卒業
2025年 岡山大学病院 勤務

検査技術科学専攻

命を支える検査データと向き合う姿勢—大学から現場へ

Q. 大学4年間で学んだこと

岡山大学での4年間は、臨床検査技師としての基礎を築くとともに、医療に携わる者としての姿勢を深く学ぶ日々でした。先生方の親身に熱心な講義から、検査データの一つひとつが患者さんの命を支える大切な情報であることを実感し、正確さと責任感をもって業務にあたることの重要性を学びました。実習では、本専攻でしか学べないような貴重な経験をさせていただくとともに、基礎から応用までしっかり学ぶことができました。

Q. 大学で学んだことがどう職場で生かされているか？

授業や実習で身につけた検査技術やデータの読み取り方はもちろんですが、最も役立っているのは“なぜこの結果が出たのか”と考える姿勢です。先生方の指導のもと、結果の背景にある病態や患者さんの状態を深く理解する力を培うことができました。その学びが、現場で異常値を見つけたときに迅速かつ的確な判断を下すことにつながっています。また、グループワークや実習を通して培ったチームワークの大切さも、現在の職場で強く生かされています。

Q. これからの目標

今は生化学・免疫部門を中心に担当させていただいており、多くの検査結果を扱うとともに、迅速で正確な手技が必要とされる重要な部門です。日々のルーチン業務での手技向上と正確性を磨いていくことはもちろんですが、検査項目や異常値への理解をより深めていき、患者さんの変化に気づける臨床検査技師になりたいと思っています。



稲垣 秀一さん

PROFILE
2020年 愛媛県立松山南高等学校
2024年 岡山大学医学部 卒業
2025年 大塚赤十字病院 勤務

卒業後の進路



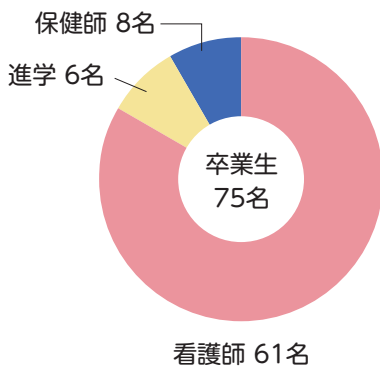
卒業生の多くは、病院などの医療機関に就職しますが、近年では医療関連企業や行政機関に就職する人も増えています。また、大学院に進学し知識・技術の向上や資格取得、あるいは大学教員・研究者を目指す卒業生もいます。

看護学専攻の進路

●主な進学先（令和3年～令和7年度）

岡山大学大学院保健学研究科
 京都大学大学院医学研究科
 大阪大学大学院医学系研究科
 神戸大学大学院保健学研究科
 熊本大学養護教諭特別科

●進学・就職状況（令和7年度実績）



●主な就職先（令和3年～令和7年度）

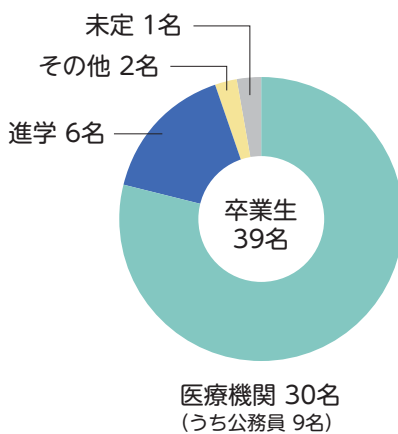
地域	就職先
岡山県	岡山大学病院・岡山市立総合医療センター・南岡山医療センター・川崎医科大学総合医療センター・岡山済生会総合病院・心臓病センター・神原病院・倉敷中央病院・津山中央病院・岡山県・岡山市 他
中国・四国	広島大学病院・広島赤十字原爆病院・山口大学医学部附属病院・高松赤十字病院・徳島大学病院・松山赤十字病院・島根大学医学部附属病院・広島県・愛媛県・香川県・高知県・福山市・山口市・下関市 他
近畿	京都大学医学部附属病院・大阪大学医学部附属病院・国立循環器病研究センター・神戸大学医学部附属病院・兵庫医科大学病院・兵庫県立こども病院・神戸市立医療センター・姫路赤十字病院・尼崎総合医療センター・兵庫県・大阪市・神戸市 他
関東・東海	神奈川県立こども医療センター・慶応大学病院・愛知医科大学病院・三重県立総合医療センター 他
九州	九州大学病院・那覇市立病院・北九州市・宮崎市 他

放射線技術科学専攻の進路

●主な進学先（令和3年度～令和7年度）

岡山大学大学院保健学研究科
 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科

●進学・就職状況（令和7年度実績）



●主な就職先（令和3年度～令和7年度）

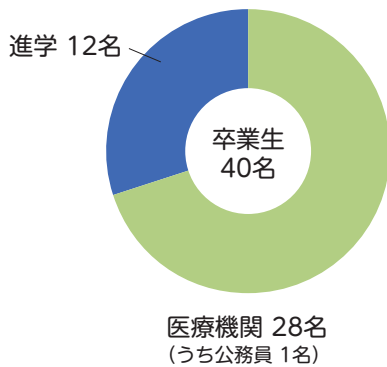
地域	就職先
岡山県	岡山大学病院・岡山赤十字病院・岡山済生会総合病院・倉敷中央病院・津山中央病院・岡山労災病院・倉敷成人病センター・しげい病院・岡山旭東病院・岡山中央病院・水島第一病院・水島中央病院・赤磐医師会病院 他
中国・四国	広島県職・広島市立病院機構・脳神経センター大田記念病院・JA尾道総合病院・福島生協病院・鳥取赤十字病院・鳥取県立中央病院・島根大学医学部附属病院・益田赤十字病院・松江市立病院・四国こどもとおとなの医療センター・済生会松山病院・済生会今治病院・愛媛県職・JA愛媛厚生連・中国中央病院・近森病院 他
近畿	大阪府済生会中津病院・大阪赤十字病院・北野病院・関西医科大学附属病院・姫路赤十字病院・兵庫県職・兵庫県立リハビリテーション中央病院・加古川中央市民病院・市立伊丹病院・兵庫医科大学病院・赤穂市民病院・関西ろうさい病院・市立福知山市民病院・大津赤十字病院・滋賀県職・和歌山県立医科大学附属病院 他
関東	千代田テクノル・富士フィルム・藤田医科大学病院・浜松医療センター・株式会社DYM・国立がん研究センター東病院・株式会社フィリップス・ジャパン・北里大学病院・名古屋市立大学・東京科学大学病院 他
九州	長崎原爆病院・新古賀病院・聖マリア病院 他

検査技術科学専攻の進路

●主な進学先 (令和3年度～令和7年度)

岡山大学大学院保健学研究科
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
岡山大学大学院環境生命科学研究科
京都大学大学院医学研究科
三重大学大学院医学系研究科
鳥取大学大学院医科学科
名古屋大学大学院創薬科学研究科

●進学・就職状況 (令和7年度実績)



●主な就職先 (令和3年度～令和7年度)

地域	就職先
岡山	岡山旭東病院・岡山済生会病院・岡山西大寺病院・岡山赤十字病院・岡山市民病院・岡山ハートクリニック・心臓病センター榊原病院・川崎医科大学附属病院・倉敷中央病院・倉敷成人病センター・岡山淳風会健康管理センター・岡山博愛会病院・三宅医院・玉野医療センター・しげい病院・岡山ろうさい病院
中国・四国	愛媛県職員・愛媛大学医学部附属病院・広島市立病院機構・福山市医師会・福山市民病院・谷口ハートクリニック・香川県職員・中国中央病院・土谷総合病院・JA広島総合病院・公立みつぎ総合病院・広島共立病院・高松市職員・松山赤十字病院・徳島赤十字病院・広島市民病院・高知大学医学部附属病院・山口赤十字病院・島根県職員・鳥取県職員・徳島県鳴門病院
近畿	滋賀医科大学附属病院・加古川中央病院・奈良平成記念病院・松下記念病院・兵庫医科大学附属病院・神戸市民病院機構・神戸赤十字病院・大阪赤十字病院・京都第一日赤・大阪警察病院・兵庫県職員・三重大学医学部附属病院・大阪大学医学部附属病院・奈良県立医科大学附属病院・福知山市民病院・神戸市民機構・姫路赤十字病院・兵庫県立病院・武田病院グループ
関東	帝人株式会社・戸田中央医科グループ・LSIメディエンス・上板橋病院・順天堂大学医学部附属順天堂病院
中部	富山大学附属病院・福井県済生会病院・浅田レディースクリニック
九州	福岡輝栄会病院・北九州市立病院機構・産業医科大学若松病院・北部医師会病院

大学院進学

詳細はP.16～

岡山大学はSDGs (Sustainable Development Goals) を推進しており、様々な課題に対応し解決していく能力を身につけた医療人材の養成を目指しています。時代の変化に柔軟に対応し、社会のニーズにこたえる指導的な人材「知のプロフェッショナル」を育てていきます。

岡山大学大学院保健学研究科では、ニーズに応じた魅力ある学位プログラムを設置しており、国際的に活躍できる研究者、医療や保健を支える高度な能力を持つ職業人を養成します。

保健学研究科で取得可能な学位や資格は、以下のとおりです。

	博士前期課程	博士後期課程		受験可能な資格
看護学分野	修士 (看護学)	博士 (看護学)	看護学分野	助産師 (専門コースを履修した場合に限る)
	修士 (保健学)	博士 (保健学)	放射線技術科学分野	医学物理士
放射線技術科学分野	修士 (保健学)	博士 (保健学)	検査技術科学分野	超音波検査士 (専門コースを履修した場合に限る)
検査技術科学分野	修士 (保健学)	博士 (保健学)		遺伝子分析科学認定士
				バイオインフォマティクス技術者
				上級バイオ技術者
				細胞検査士

※修士 (看護学) の学位取得を希望する場合は、看護学専門科目のうちから22単位以上を履修すること。
※博士 (看護学) の学位取得を希望する場合は、看護学専門科目のうちから10単位以上を修得すること。
※保健師教育は、大学院移行に向けて準備中。



看護学分野

Graduate School of Nursing

—科学的な視点で看護を探求し、質の高い看護ケアの提供や看護システムを構築できる研究者、高度な実践能力を有した人材の育成を目指す—

大学院で高める力



博士前期課程 2年制 (看護学研究コース、助産学コース)

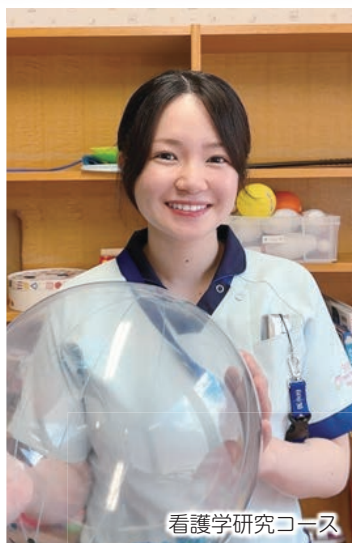
*保健師教育は、大学院移行に向けて準備中。

研究の基礎能力を持ち、看護の課題を探究できるエキスパートへ

博士後期課程 3年制 (看護学高度研究コース)

自立した研究能力を持ち、新たな知の発見・価値の創造ができる研究者・教育者・リーダーへ

大学院生に聞く！



看護学研究コース

>>> 研究に必要な基礎やスキルを学び、臨床での課題解決につなげたい

●コースの魅力・特徴

指導教員との密接な対話や同級生との議論を通じて、批判的思考や物事を客観的に洞察する力が身についています。自分の意見を表現できる機会が多く、人としての「深み」が増しているように感じています。私が求めていた教育はここにありました。

●大学院で何を学んでいるか

大学院1年目では、学部時代に得た知識やスキルをより高度に発展させ、専門的な知識やリサーチスキル、理論と実践の統合や看護研究の基礎固めを中心に学んでいます。自身の研究議題に関しても、大学院2年目を見越して着実に準備を進めています。

●これからの夢や目標

近年、発達障害を加え入院してくる子ども達が増えています。障害の有無に関わらず誰もが適切な場面で適切な治療を受けられるよう、看護師向けの「発達障害児に特化したプレパレーション」方法を確立する予定です。今後は博士課程への進学も考えており、確立したプレパレーションを普及していきたいです。

>>> 研究と臨床をつなぎ、看護の発展に貢献したい

●看護学高度研究コース (博士後期課程) に進んだ理由を教えてください

博士前期課程では、臨床での疑問を研究テーマとして具体化し、研究計画、調査の実施までの過程を基礎から丁寧に学びながら研究を進めることができました。自身の抱いた臨床での疑問が研究としてどのような意義があるのかを繰り返し考えていくなかで、看護研究の奥深さと難しさを実感しました。博士後期課程では、博士前期課程で取り組んだ研究テーマを継続して取り組み、臨床での疑問を解明したいと思い、進学しました。

●これからの夢や目標について教えてください

私は臨床で勤務をしながら大学院で研究を行っています。博士後期課程では、臨床での疑問を解明し、日々の看護実践に還元されることを期待しています。博士前期課程で学ばなかで研究には知識や方法だけが必要とされるのではなく、他者に研究を伝える力、伝わるように書く力が欠かせないと感じ、研究活動を進めていくなかで身に着けていきたいと考えています。将来的には臨床において研究活動の中心になっていけるような看護師となり、より看護に貢献できるよう頑張りたいです。



看護学高度研究コース

活躍するOB・OGに聞く！

>>>大学院で身につけた力を、地域保健事業に活かす



大元 寿馬さん

2019年 岡山大学卒業 保健師課程修了
2021年 岡山大学大学院保健学研究科
博士前期課程修了
2021年 岡山市保健所 感染症対策課勤務

●大学院に進学したきっかけを教えてください。

高校生の頃から大学院進学を目標にしていました。保健師養成課程が大学院化している大学もあり、将来就職した時の同期に負けない学びを積んでおきたいと考えたことも進学を後押ししています。また、学部の卒業研究ゼミにおいて、指導教員の先生が背中を押してくださったことが最終的に大学院への進学を決断した理由になります。

●大学院での学び・研究をどのように活かしていますか？

大学院では研究手法および統計学など、論文抄読や執筆を行う上で必要な知識を重点的に学びました。また、TA（ティーチングアシスタント）や研究発表の場を通して他者に伝える力についても養うことができました。

現在、私は岡山市保健所で感染症対策の業務を行っています。管轄内における感染症関連の統計業務、感染症対策上の最新の知見を収集すること、国の動向を把握すること、これらの概要を住民の皆様説明をする場面などで、大学院で身につけた力を実際に活かすことができています。

●これからの目標について教えてください

岡山市保健所は保健師業務のうち、母子保健をはじめ、感染症、精神保健、難病など様々な機能を有しています。学生時代を過ごした岡山でより良い学びをしたいと思い、入庁しました。現在取り組んでいる感染症対策の知識を深めつつ、今後は他領域の知識や経験を積んだ保健師になれるよう頑張りたいと思っています。

>>>新たな知見を発信し、人々が望む生活を送るための力になりたい

●大学院に進学したきっかけを教えてください。

私が大学院に進学したきっかけは、学部生時代に取り組んだ卒業研究です。その中で、「誰も知らないこと」、「新しいこと」を明らかにすることに面白さとやりがいを感じ、より研究を学びたいと思い進学を決意しました。

●大学院での学び・研究をどのように活かしていますか？

現在、私は大学教員として勤務しています。大学教員は、教育・研究・社会貢献といった様々な役割を担っており、それらの役割を果たす上で大学院での学びは私の大きな力となっています。

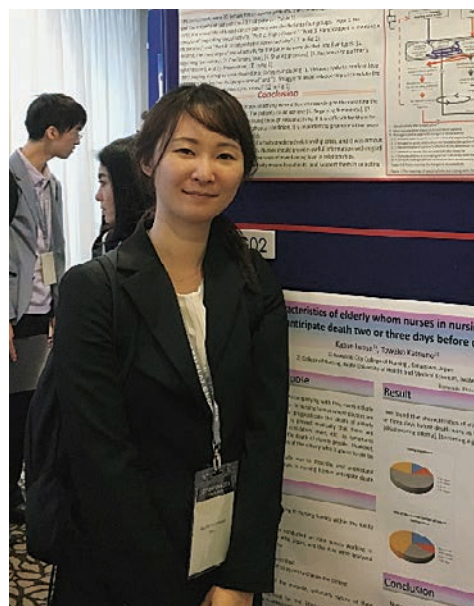
特に大学院では、指導教員や院生とのディスカッションや研究プロセスなどを学ぶと同時に、自らの研究が単なる興味ではなく、看護学の視点に立ち「研究の意義」を明確にすることが非常に重要であると学びました。

その学びは、今も私の研究者としての軸となっており、新たな理論や看護実践を国内外に示し、臨床・教育現場はもちろん社会に貢献できるよう努めています。

●これからの目標について教えてください

看護は世界共通の学問です。そのため、私の今後の目標は、大学院での学びを糧に、国内外問わず新たな知見を発信できる研究に取り組むことです。これからの看護学の発展、そして看護を受ける多くの人々が自らの望む生活を送れるよう微力ながら努力を続けていきたいと思っています。

ぜひ、みなさんも岡山大学でさらなる高みを目指してみませんか？



吉川 あゆみさん

2013年 岡山大学大学院保健学研究科
博士前期課程修了
2017年 岡山大学大学院保健学研究科
博士後期課程修了
2021年 奈良県立医科大学医学部看護学科 助教

放射線技術科学分野

Graduate School of Radiological Technology

放射線の
エキスパートを目指す

リーダーシップを発揮できる人材の育成

放射線技術科学分野では、高度専門職としての知識と技術を修得し、それを総合的に応用できる能力や各個人が独創的な発想のもとで真理を探究する能力を身に付け、保健医療の世界やチーム医療の中でリーダーシップを発揮できる医療技術者、研究者、教育者の育成を目指しています。博士前期課程には高度実践研究コース、博士後期課程には先端研究コースを設置しています。また、特別履修コースとして博士前期課程にがん放射線科学コース（医学物理士コース）を設置しています。本コースは社会人入学を含めて多くの学生が履修し、医学物理士を取得しています。さらに令和3年度から中性子医療コースを開設しています。

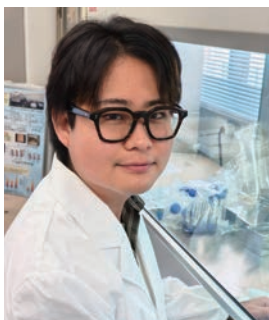


高度実践研究コース（博士前期課程 佐藤 名一樹 さん）

高度実践研究コースの研究課題は「医用情報理工学」と「放射線健康支援科学」の2領域からなり、私は研究テーマに応じて所属領域の専門科目を履修しています。講義は研究方法や統計、医療倫理を含み、他専攻と合同で学ぶ機会も多いです。日常は日中に研究、文献整理、夕方には講義を受け、2年次の修士論文の完成を目指しています。また、学会発表や臨床の場に立つ機会があり、実践を通して技術と視野を磨いています。指導教員との議論で研究の課題を明確にし、着実に成果を積み上げています。充実した環境で学びを深めていきながら、日々成長を実感しています。

医学物理士コース（博士前期課程 後藤 峻介 さん）

医学物理士コースは、がん治療を専門的かつ体系的に学べるカリキュラムです。放射線治療だけでなく、緩和ケアやがん患者とのコミュニケーションなど、がん治療に関わる幅広い知識を身につけることができます。さらに、多職種の方々と協働しながら治療方針を検討する実践的な演習にも参加でき、臨床に近い視点で学べる点が大きな特徴です。私はこのコースを通じて、学部では触れられなかった臨床的・多面的な視点からがん治療を深く学ぶことができ、その成果を活かして医学物理士認定試験にも合格することができました。放射線治療の高度化が進み、がん治療における重要性がさらに高まる中で、本コースで得られる学びは非常に価値があると感じています。



先端研究コース（博士後期課程 田中 歩 さん）

放射線技術科学分野の先端研究コースでは2つの専門領域に分かれ、所属領域に応じた高度な専門科目を履修します。さらに、多職種連携（インタープロフェSSIONALワーク）に関する講義を通して、看護・検査分野の教員・学生とチームを組み、共通の目標を達成するために必要な協働スキルや課題解決能力を実践的に学びます。博士後期課程では必修科目が少なく、研究に集中できる環境が整っています。また、年度初めには指導教員と研究指導計画書を作成し、十分な打ち合わせのもとで研究を進めることができます。加えて、岡山大学では博士後期課程の学生を対象とした経済的支援制度も充実しており、安心して研究生活に取り組むことができます。

大学院生に聞く!



研究の挑戦と成長、そして臨床へ

●進学のきっかけ

放射線を用いた診断・治療機器は日々進歩し、私はより良い診療をするために技術に加え装置を理解することが重要だと考えています。装置の知識や研究の面白さなどを熱心に伝えてくださる先生方に出会えたことが進学のきっかけです。

●大学院での目標

「挑戦」と「成長」です。現在、放射線治療に関する研究を行っています。データの取得と解析のための環境を整えていただき国際学会や論文のスタートラインにやっとたどり着きました。データや文章を簡潔にまとめ上げ採択されることが目標です。



●将来の目標

装置の特性や医師のオーダーを理解して診断に役立つ撮影・治療を行うことです。良い撮影や良い治療を行うには自分自身のスキルアップはもちろん、患者さんの協力が不可欠です。常に丁寧な対応をできる診療放射線技師を目指します。また、就職先でも研究に携わっていきたいと考えています。

●大学院に進んだきっかけ

近年、医療機器の高度化に伴い、それに携わる診療放射線技師にもより専門性を求められています。大学の先生、臨床実習でお世話になった技師の先輩方のアドバイスもあり、私も専門性を持った技師になるために大学院に進学することを決めました。

●大学院でのライフスタイル

私は臨床の現場で診療放射線技師としての経験を積みながら、自身の研究分野のMRIの学習を進めていくということが目標でした。

平日は岡山赤十字病院でMRI撮像の業務にスタッフとして配置させていただき、経験・技術向上に努める事ができました。そして日勤業務後や休日は施設での実験や研究室でデータの解析を行うという忙しいながらもとても充実した日々を送りました。

また研究に関してはこの施設の博

士の方にお世話になり、MRIにおける脳賦活領域とその脳神経描出法の研究を行いました。そして在学中に海外の学会で研究発表をできた事は私にとってかけがえのない経験になりました。

●現在のライフスタイル

私は就職してからは主に放射線治療業務を担当になりました。大学院での研究分野とは異なりますが、専門性を深めていくという事を大学院で経験できたので、スムーズに放射線治療にのめり込む事ができたと思っています。また大学院で医学物理士コースを受講していたこともあり、医学物理士の認定試験に合格することができました。また放射線治療計画装置に取り込むMRI画像のシーケンスの影響の研究を行うなど、私の学んだ事が融合して深まっていくことにやりがいを感じながら日々を過ごしています。



活躍する
OB・OG

学んだ事が深まって
やりがいを感じています。

博士前期課程修了
岡山赤十字病院 中央放射線部 勤務



検査技術科学分野

Graduate School of Medical Laboratory Science

きみの“なぜ？”から
世界が変わる かもしれない。

世界と勝負できる“サイエンティスト”を養成する

臨床検査は、科学技術の進歩が速やかに反映され、職務が多様化されやすい領域です。検査技術科学分野では、医学や臨床検査に関係する領域についてさらに深く学び、幅広い知識と高度な技術を修得し、それを応用・実践することのできる人材、すなわち“サイエンティスト”を育成します。そのために本分野では、魅力ある3つの学位プログラムを設置し、専門的な知識・技術の修得ができる環境を整えています。

大学院生に聞く！ —リアルな大学院生活—



●臨床検査科学・高度実践研究コース

市川 千紘さん（博士前期課程2年・研究分野：微生物学）

【コースの特色と魅力】

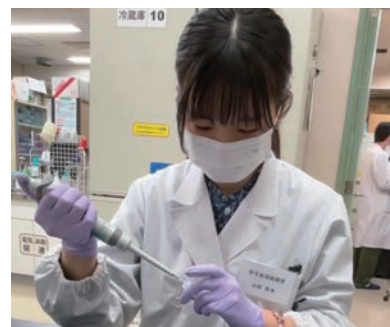
細胞培養や分子生物学的手法など、多様な実験技術を基礎から応用まで幅広く学べる環境が整っています。自身の研究に必要なスキルを段階的に身につけられるだけでなく、病院でのアルバイトを通して臨床に触れる機会もあり、将来の目標に合わせてさまざまな経験を積みやすい点が大きな魅力です。

●ゲノム医療・医科学研究コース

山田 梨央さん（博士後期課程1年・研究分野：病理学）

【コースの特色と魅力】

近年、ゲノム医療は急速に発展しており、臨床検査技師には高度な専門知識と技能が求められています。本コースでは、その力を養うために、ゲノムに関する専門知識、検査技術、データ解析技術を総合的に学ぶことができます。さらに、がんゲノム医療拠点病院である岡山大学病院が隣接しているため、最先端のゲノム医療を肌で感じながら学ぶことができます。



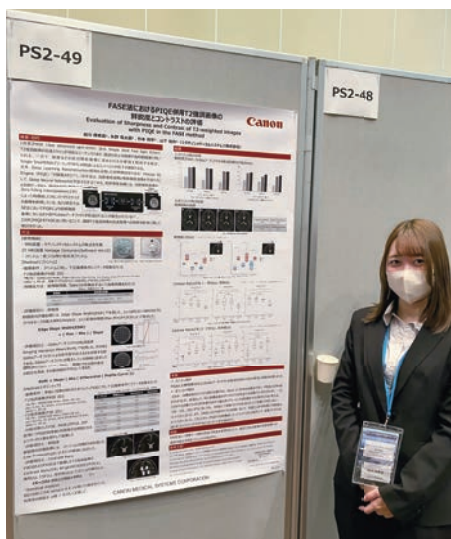
●超音波検査士育成コース

多胡 遥香さん（博士前期課程2年・研究分野：生理学）

【コースの特色と魅力】

本コースの最大の特色は、超音波検査士の資格取得に向けたエコー技術・知識の習得に加え、動物実験などの研究活動と両立できる点です。連携病院での実習を通して、臨床現場で求められる高いスキルを早期から身につけられ、大学院在学中に超音波検査士の認定資格取得を目指すことができます。また、エコー技術にとどまらず、研究活動を通して幅広い分野の知識を深めることができるため、多角的な視点を持つ医療人として成長できます。

活躍するOB・OGに聞く！ —大学院での学び・経験—



前川 倅希奈さん

2017年 滋賀県立石山高等学校普通科 卒業
2021年 森ノ宮医療大学医療技術学部
臨床検査学科 卒業
2023年 岡山大学大学院保健学研究科 修了
2023年 キヤノンメディカルシステムズ株式会社
MRI営業部 勤務

“大学院は未来に大きく活かすことができる 貴重な機会です”

●大学院での生活はどのようなものでしたか？

—大学院生活は、**全てが充実したかけがえのない時間**でした。岡山大学大学院は、研究環境が整っており、チームとして他の人の研究についても知る機会が多く、やりがいを感じて研究を進められました。さらに研究室の先生、先輩、同期、後輩に恵まれ、関わってくださった全ての方のおかげで人として成長でき、**大学院に進学していなかったら学べなかった多くの知見を得る**ことができました。また、若手研究者を盛り上げるためのイベント運営に参加することで、異なるバックグラウンドを持つ方々と意見交換を行うことができ、さらにチームワークの大切さも学ぶことができ、とても貴重な経験になりました。

●大学院での経験は、社会でどのように活かされていますか？

—**仕事をする上で大きく活かされているスキルは2つ**あります。1つ目は**プレゼンテーションのスキル**です。私は現在、特定の製品の専門家としてお客様と向き合う技術営業職として働いています。この仕事ではお客様の前で担当製品のプレゼンテーションをする機会が多く、**研究活動を通じて身につけた専門分野をプレゼンテーションするスキルは、現在の仕事に非常に活かされています**。2つ目は**忍耐力**です。研究は全てが想定通りに進むことは少なく、様々な可能性を思考するのに多くの時間を費やし、時には忍耐力が求められました。これにより、**長期的なプロジェクトや予期せぬ困難に対する耐性が自然と身につきました**。現在の職場でも、私が担当する製品では長期にわたる商談に向き合うことがほとんどのため、**忍耐力や予測不能な事態に柔軟に対応する力として活かされています**。

●大学院進学を悩んでいる学生に一言

—少しでも研究に興味がある方には、環境が許す限り進学を勧めたいです。研究に没頭できる期間は限られており、**大学院で得られる知識や経験は、その後の人生に無限の可能性を広げてくれる**ものです。自分次第で、未来に大きく活かすことができる貴重な機会だと思います。

“大学院で伸ばす自分の強みと創造する新たな価値”

●大学院に進学した理由は何ですか？

—私が卒業研究で所属した研究室では、研究に加えて抄読会や学会発表、資格取得など、これまでの授業や実習とは異なる新たな学びの機会が多くありました。当初から、大学院進学を考えていましたが、**研究室での学びや経験、さらには大学院で活躍する先輩方の姿に刺激**を受け、自分も研究活動を通して、**臨床検査技師とは異なる新たな付加価値をつけたい**と強く思うようになり、大学院への進学を決意しました。

●大学院生活はどのようなものでしたか？

—振り返ると、**あっという間の2年間**でした。初めはわからないことばかりの不安な日々が続き、時には悔しさから涙することもありました。そのような中で支え合い、共に困難を乗り越えてきた同期の存在は大きく、卒業した今でも困った時には相談し合う、大切な仲間となりました。また、先生や先輩、後輩にも恵まれ、**非常に有意義な充実した大学院生活を過ごす**ことができました。

●大学院進学を悩んでいる学生に一言

—大学院では**努力次第で、自分に多くの付加価値をつけることができます**。大学院へ進学することで、大学の同級生よりも2年、社会に出るのが遅くなるかもしれませんが、しかし、それ以上に大学院で過ごした時間や学生時代のうちに何かに一生涯懸命取り組んだ経験は、かけがえのない財産となります。そのため、少しでも大学院での生活に興味があれば、ぜひ大学院進学を検討してほしいと思います。各分野のスペシャリストである先生方が多く在職している検査技術科学分野では、**新たな研究の世界を知り、今後の人生における選択肢を増やすことができる**はずですよ。

前濱 かなさん

2018年 長崎県立長崎南高等学校普通科 卒業
2022年 岡山大学医学部保健学科 卒業
2024年 岡山大学大学院保健学研究科 修了
2024年 地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター 医療技術部
臨床検査部門 勤務



多種多様な学びの門を広く開いています



学部入試

総合型選抜（大学入学共通試験を課すもの）

保健学科では、2024年度入学者選抜から総合型選抜入試を取り入れました。この選抜では、特に“好奇心にとみ、自由な発想と知的探究心の強い人”“自らの課題に主体的に取り組み幅広く学ぶ意欲のある人”を求めています。一般選抜のほかに、多様な入試方法で入学した学生は、目的意識を持ち、自分自身の可能性を広げているのが特徴です。総合型選抜の導入で、さらにチャレンジ精神をもつ学生が増えることを期待しています。

将来わかりやすい診断画像を撮りチーム医療に貢献する診療放射線技師になるという目標実現のため、私はチーム医療に関する演習や大学病院で充実した実習ができる岡山大学に魅力を感じ志望しました。後期日程が廃止されたので、総合型選抜を受けることで早い時期にチャンスが増え、また前期試験と同じ共通テスト全科目を必要としていたので受験科目の対策も立てやすいと考え受験しました。

小論文（模擬講義による）では話のポイントを押さえて簡潔にメモをとり、講義の意図を考えることが大切でした。普段の授業からポイントを自分の中でまとめながら聞く意識を持っていたことが役に立ちました。面接は準備した回答を丸暗記でなく、自分の中で核となるものを持って試験に向かうといいと思います。これだけは伝えたいということを軸に試験官と対話するつもりで臨みました。また日頃からの生活態度も大切なので、自分からできることから取り組むといいと思います。大切なのはそこで何を考えてどう行動に移すかだと思います。総合型選抜で求められているものは、一朝一夕では身につけにくいものだと思うので、一つ一つを丁寧に、小さなことから積み重ねていく意識が大切だと思います。

チャレンジ精神と行動力



総合型選抜で入学した学生の声

（放射線技術科学専攻）

国際バカロレア（IB）選抜

保健学科では、2015年度からIB選抜で学生が入学しています。IB教育課程での履修科目とその成績を指定していますが、入試の方法は書類審査と面接になります。IB生は、様々なグローバル化の活動の場で、中心的存在として活躍しています。

保健学科では様々なグローバル化活動が行われており、世界の医療の現状や問題などを自分の目で見ることで、人種の壁を超えた看護を行える医療者になれると考え、受験しました。実際に、今まで以上に多岐に渡った国際的な経験を積むことができています。

私が参加した海外研修では、現地の総合病院、市民病院、介護施設を見学することで宗教や文化の違いを肌で感じ、日本とは異なる医療課題を感じとることができました。また「岡大医英会」では実践的な英語力、「グローバル人材育成コース」では英語でのプレゼン力、「留学生とのシェアハウス」では異文化交流を通して国際感覚を身につけ、さらに自己の成長に繋がっています。

英語力と国際感覚



国際バカロレア選抜で入学した学生の声

（看護学専攻）

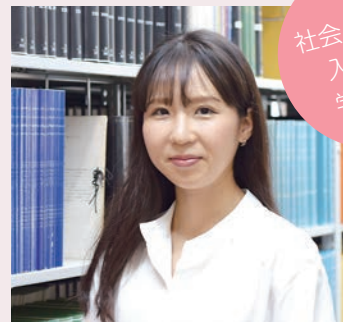
※卒業生は岡山大学病院で看護師として活躍しています。

社会人選抜

社会人選抜は、「もう一度大学で学び直したい」といった、大学入学への意欲を持った社会人のために用意された制度です。出願資格は、3年以上の職歴（家事に従事した期間や大学時代のアルバイトを含む）を有する人です。保健学科では、社会人としての定義にあたる“職歴”に家事だけでなくアルバイトも含めて、学びの門戸を開いています。

Q：どのような経緯で岡山大学を受験したのですか？

高校生の時、内戦中のスリランカを訪れ受けた衝撃から「豊かさとは何か」と疑問を抱き、人の尊厳が守られる社会づくりに貢献したいと考えようになりました。その後、大阪市の子育て支援センターで生きづらさを抱える子どもや家族と関わる中で、思いを受け止める難しさや、自分の無力さを痛感し、看護学を学ぶことに決めました。国際的な視点で看護学を学びたいと考え、グローバル化を推進する岡山大学を選びました。



社会人選抜で
入学した
学生の声

（看護学専攻）

Q：実際に学んでみてどうですか？

これまで世界中の国や地域を訪れ、その土地の文化や自然、人々や価値観の多性に触れてきた経験全てが、今の学びに生きています。一方、看護学を学べば学ぶほど、これまでどれほど自分が「人」について知ったつもりでいたか、いかに自分が小さな存在であるかを思い知らされます。そのたび、看護学の奥深さや面白さを感じ、進学という選択をしてよかったと思います。

Q：受験のために準備したことがあれば教えてください。

「なぜ岡山大学で看護学を学びたいのか」を何度も自身に問い、まず明確な目標と計画を立てました。毎朝新聞を読み、幅広く社会を見て様々な問題に目を向けていたことは、小論文や面接試験で役立ったと思います。医療に関する記事は、切り抜いてスクラップし、試験前に見返していました。昔から新書が好きで読んでいたことも、知識を深めたり、自分の意見を膨らませる力に繋がっていたと思います。

■ 学生定員

看護学専攻 80人
放射線技術科学専攻 40人
検査技術科学専攻 40人

■ 入試日程

	発表時期	入学試験予定
国際バカロレア選抜学生募集要項	6月 中旬	12月 月上旬
総合型選抜・社会人選抜学生募集要項 私費外国人留学生選抜学生募集要項	7月 下旬	総 ・ 社：12月 月上旬 私費外国人： 2月 月下旬
一般選抜学生募集要項：前期日程	11月 月上旬	2月 月下旬

■ 募集要項等の請求方法

学生募集要項の冊子は配布しませんので、上記の発表時期以降、次のホームページからダウンロードしてください。
<https://www.okayama-u.ac.jp/tp/admission/bosyuyoko.html>

※入学者選抜要項は7月上旬に公開します。

大学院入試

博士前期課程も博士後期課程も働きながら学ぶことが可能です。「研究結果を実践に役立てたい」「研究力を身につけたい」「実践を科学的な視点で検証したい」、様々なマインドをもった方を保健学研究科では求めています。

■ 保健学研究科 募集人員

	看護学分野	放射線技術科学分野	検査技術科学分野
博士前期課程	14人	6人	6人
博士後期課程	計 10人		

■ 募集要項発表時期は6月中旬、入学試験は8月下旬を予定しています。

※学生募集要項の冊子は配布しませんので、上記の発表時期以降、次のホームページからダウンロードしてください。
<http://www.fhs.okayama-u.ac.jp/>

●保健学研究科のHPに大学院入試に関するQ&Aを掲載しています。https://www.fhs.okayama-u.ac.jp/exam_grad/#QA

鹿田キャンパス案内



鹿田キャンパスまでの経路

- バスをご利用の場合
 - 【JR 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル】
 - ▶2番乗り場から
 - [52]系統「大東」行き ⇒「大学病院入口」で下車
 - ▶3番乗り場から
 - [22]系統「(市役所経由)岡山ろうさい病院」行き ⇒「大学病院入口」で下車
 - [62]系統「南ふれあいセンター」行き ⇒「大学病院入口」で下車
 - ▶4番乗り場から
 - [2H]系統「大学病院」行き ⇒「大学病院」で下車
 - [12]系統「岡南営業所」行き ⇒「大学病院入口」で下車
- 岡山市内循環バスをご利用の場合
 - ▶岡山駅前(高島屋入口)から
 - 医大左線⇒「大学病院入口」で下車
- 路面電車をご利用の場合
 - JR 岡山駅周辺から、路面電車「清輝橋」行き ⇒「清輝橋」で下車 ⇒ 西へ徒歩約5～10分
- タクシーをご利用の場合
 - JR 岡山駅後楽園口(東口)タクシー乗り場から、タクシーで約5～10分



UD FONT

このパンフレットは、ひとにやさしいメディア・ユニバーサルデザインを考慮して制作されています。見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



岡山大学 医学部 保健学科・大学院保健学研究科

〒700-8558 岡山市北区鹿田町二丁目5-1

お問合せ窓口：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ 保健学科・保健学研究科担当

Tel. 086-235-7984

E-mail ishiyaku-g-hoken@adm.okayama-u.ac.jp

編 集：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ 保健学科・保健学研究科担当

<http://www.fhs.okayama-u.ac.jp/>

岡山大学医学部保健学科

検索

